

回覽

昭和十四年十月

二ノ
101

第課
課
第課

是任者心得

南京派遺館司令部



1488

本心得ニハ未ダ不備ノ點アリト雖參考ノ爲不取敢印刷
配布ス

1489

一 赴任ノ經路

内地ト當地間ノ經路ハ航空路ト海路トノ二途アリ

1 飛行機ニ依ル場合

イ 福岡―臺北間ノ搭乗ハ搭乗月日、所屬、官等氏名、荷物重量ヲ具シ電報或ハ電話ニテ陸軍省交通課ヘ申込マレ度

定期ダグラス機ハ毎日福岡ヲ出發ス

但シ飛行機ニ依ル場合ノ携行品ハ各自十斤以内ハ無料トシ一超ヲ越ス毎ニ貳圓ヲ徵收セラル

ロ 臺灣―廣東間ハ定期ダグラス機カ毎日臺北ヲ出發シ又臺灣―海南

島間ハ每週月、木二回八時臺北ヲ出發ス

臺灣―廣東間及臺灣―海南島間ノ搭乗ハ臺灣軍司令部内兵站部ニ

於テ搭乗事務ヲ取扱フ

ハ飛行機ニテ赴任ノ場合將校行李其他荷物搭載不能ノ時ハ

「南支派遣軍司令部氣付〇〇部發 何 某」

ノ標識ヲ附シ最寄ノ陸軍輸送部同支那駐泊場司令部同出張所等ニ

依託發送ス

2 船員依ル場合

イ内地ト臺灣間

内臺航路ハ神戸ヲ基點トシ門司ニ寄港シ基隆ヲ終點トスル臺灣總督府ノ命令航路ニシテ大阪商船並近海郵船會社ノ一萬噸級五隻（甲船二乙船三隻）並航シ三日ニ一日神戸基隆ヲ出帆スルヲ例トス神戸基隆間ノ所要時間ハ甲乙ノ船種及季節ニ依リ差アルモ普通三泊四日ヲ要ス

船ノ發着日並ニ出帆時刻ハ下年中概ネ變化ナキモ一應陸軍運輸部ヨリ毎月發行スル定期船運航表ニ就キ調査スルヲ可トス

乗船地ハ舊任地ノ最寄港ヲ立前トスルモ豫メ届出ツル時ハ神戸門司ノ何レニテモ乗船スルコトヲ得（昭和十四年陸普五八九九號參照）

ロ臺灣ト廣東（海南島、汕頭）間

基隆ヲ基點トシ高雄、汕頭、香港等ニ寄港シ二千五百噸ト四千五百噸級五、六隻月ニ七八回基隆及高雄ヲ出發ス所要時間ハ七一八十

時間トシ之カ乗船事務取扱ハ基隆若ハ高雄ノ運輸部トス

又廣東ノ海南島間ハ三千噸級ノ船カ廣東ヲ基點トシ月三回一四回
出帆シ約三十時間ヲ要ス

該區間ノ乗船事務取扱ハ南支派遣軍司令部副官部ニテ行フ

二 乗船ノ心得

1 乗船ト便乗トノ區別

官船ニ乗船スル者ニハ乗船者ト便乗者ノ區別アリ乗船者トハ陸軍所
管ノ旅費ヲ受ケタル者ニシテ便乗者トハ乗船者ニ附隨シテ旅行スル
モノ(規定上制限カアル)或ハ特ニ陸軍大臣ノ認可シタル者陸軍運
輸部長ノ認メタル者トス

2 船室ノ等級

船室ノ等級ハ通常左ノ通りデアル

イ 高等官

口判任官雇員(二ヶ月五十五圓以上ノ者)

ハ其他及從者

一等

二等

三等

都合ニ依リ右ノ等級ヲ變更セラルルコトアルモ運輸部カ船ノ現狀ニ應シ變更シタルモノナルヲ以テ船員ニ直接交渉シテ等級船室ヲ變更セサル様ニ注意ヲ要ス

3 乗船手續

乗船者ハ乗船名區間乗船月日荷物ノ數量等舊所屬長官ニ申出ツ所屬長官ハ乗船四日前迄ニ陸軍運輸部ニ到着スル如ク乗船又ハ便乗ノ手續ヲ爲ス若シ手續後都合ニ依リ其ノ乗船ヲ延期シ又ハ取消シタル場合ニハ遅クモ出帆前夜、午後出帆ノトキハ當日早朝迄ニ其旨乗船地運輸部出張所ニ申告スルモノトス

三 携行荷物選擇上ノ注意

1 書籍殊ニ専門書其他研究ニ要スル参考書類ハ渡支後之ヲ得ルニ不便ナルヲ以テ成ル可ク携行スルヲ可トス

但シ普通ノ圖書ハ不十分ナカラ二三ノ書店ニ於テ求ムルコトヲ得
2 廣東附近ハ三月ヨリ十一月頃迄ハ夏服夏襦袢ヲ着用スルモ十二月一月二月ノ候ニ於テハ若干寒冷ヲ覺ユルヲ以テ冬物ヲ若干携行スルヲ

可トス
 3 軍服及軍靴（長靴）ハ廣東ニ於テ調製シ得ルモ上製トハ稀シ難キヲ
 以テ内地洋服店等ニテ寸度ヲ測リ必要ニ應シ調製ヲ命スル如ク準備
 セハ便ナリ
 夏服ハ着用期間長キヲ以テ若干餘分ニ準備スルヲ可トス
 4 赴任旅行中ノ心得
 1 乗船地ニ於ケル居住
 乗船（便乗）者ハ通クモ乗船前日（午後）出帆スル場合ハ當日午前中
 2 乗船前運輸部出張所ヨリ乗船（便乗）券ヲ交付セララルヲ以テ記載
 事項ヲ點檢シ且注意事項ヲ熟讀シテ乗船後船室受持給仕ヲ經テ事務
 長ニ渡セハ可ナリ
 2 船疊ノ懼レアル者ハ船疊豫防藥仁丹胃散或ハ香水ヲ携行スル等ノ用
 意ヲ必要トセン

3 船内「ボーイ」ノ心付ハ慣例上一般ニ與フルヲ通常トシ其率ハ航海日數ノ長短携行手荷物ノ多少、給仕ヲ煩ハセシ程度等ニ應シテ加減セラルヘク概ネ船賃ノ一割ヲ標準トス其ノ一例附表第一ノ如シ

4 臺灣ニ於テハ酒及煙草ハ專賣ニシテ酒類ハ和洋共絶對ニ揚陸ヲ許サス又煙草ハ内地製ト雖外國煙草ト同様ノ制限アリテ兩者共違反者ハ沒收ノ上相當ノ處分ヲ受ケルコトニ注意ヲ要ス煙草ノ制限量附表第二ノ如シ

尙植木等植物ノ移入ヲナスモノハ植物検査ヲ受クルノ要アリ之等ハ酒煙草ト同様ニ上陸前船内ニ於テ検査行ハルルヲ以テ其手續受檢ノ方法等ニ就テハ船員ニ問合スヲ可トス

五 經度ノ關係上内地ニ比シ一時間ノ時差アリ即チ内地ノ七時ハ臺灣廣東ノ六時ナルヲ以テ門司出帆ノ翌日正午ニ三十分次ノ日ノ正午ニ三十分遅ラスヲ例トスルモ廣東ニ於テハ目下日本時間ヲ其儘使用シアリ六戰禍ノ廣東モ治安回復ト共ニ各種商店開店セラレ日用品ノ購買ニハ大ナル不自由ナキヲ以テ之等ノ品ハ強テ携行ノ要ナシ

衛生ノ現況

「マラリヤ」「チブス」赤痢「コレラ」等ノ豫防接種ハ成功スルヲ來廣
前實施スルヲ可トス

附表第一

區 間 階 級 別	船内給仕ノ心付一例				
	將 官	佐 官	尉 官	准 士 官	下 士 官
至自 廣基 東隆	規定ナキモ門司ト基隆間ニ準シテ一般ニ支給シアリ				
至自 基門 隆司	八圓	六圓	五圓	三圓	二圓
至自 基神 隆戸	一〇圓	七圓	六圓	四圓	二・五圓

一等客

將官ニ在リテハ室附給仕五圓 食卓給仕三圓 風呂給仕二圓 計十圓

佐官

室附給仕二三乃至四圓 食卓給仕二圓 風呂給仕一圓 計七圓

右ハ選給部ニ於テ定メタルモノナルモ一般ニ右ノ額ヨリ多ク與フル

モノ多シ

附表第二

煙草制限數量

1 葉卷煙草 (小葉卷煙草)	二十五本以內 (開封ノモノタルヲ要ス)
2 紙卷煙草	五十本以內 (右 同)
3 刻煙草	十五匁以內 (右 同)
4 粉煙草 (嗅煙草)	十五匁以內 (右 同)
5 板煙草 (咀嚼煙草並ニ刻ニテ 喫用スヘキ板煙草)	十五匁以內 (右 同)

以上五種ハ二種以上混合ハ各種ニ付前數量ノ二分ノ一以內

其二

備 考	乃木館及北投浴場 (臺北市) (北投)								區
	社 員 以 外								
	宿 泊				休 憩				
	將官	上長官	士官	紹介者	將官	上長官	士官	紹介者	分
	一、五〇	一、二〇	一、〇〇	一、〇〇	一、五〇	一、二〇	一、〇〇	一、〇〇	維持費
	一、〇〇	六〇	五〇	五〇	一、〇〇	六〇	五〇	一、〇〇	舍番心付
	二、五〇	一、八〇	一、五〇	一、五〇	一、四〇	八〇	五〇	五〇	計
	朝食 三〇 夕餐 五〇 定食費 五〇								摘 要

1 北投溫泉ノ偕行社ヲ利用セラル、場合ハ臺北驛ヨリ機道車アリ又臺北ヨリ自動車(三、五
 一四圓)ニテ行クモ愉快ナリ
 2 高等文官ハ將校ニ準ス
 3 北投ノ一般旅館ハ佐官級ナキ七人團見當ナリ

附表第三其一

臺灣軍司令部協定旅館宿泊料						臺	
						北	高
						雄	基
						隆	
區分						宿泊料	
名 館						心付	
萬朝日吾						一〇〇〇	
陽の						一五〇〇	
屋號丸妻						二〇〇〇	
春 幽 壽 吾						三〇〇〇	
田 海 ホ テ ル						四〇〇〇	
館						五〇〇〇	
内 依 船						六〇〇〇	
山 姫 越						七〇〇〇	
計						八五〇〇	
下 士 官 以 下						二五〇〇	
准 士 官						三〇〇〇	
士 官						四〇〇〇	
上 長 官						五〇〇〇	
將 官						六五〇〇	

一 心付ハ女中客引風呂番ニ對スルモノトス

滞在ノ場合ニ於ケル心付ハ第二日以後ハ概ネ右半額ヲ標準トス

二 茶代ハ之ヲ廢止ス

三 廣東及海南島ニハ兵站旅館アリ

附表第四

氣象ニ關スル事項

平均氣溫（攝氏）

地名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
海口	一七二	一八六	二〇三	二七三	二九二	二八六	二八六	二八三	二七九	二四九	二三一	一九四
廣東	一三三	一四六	一六六	一八九	二五九	二七六	二八二	二八六	二七一	二三六	一九九	一三三

最高、最低氣溫（一月及八月）

地名	一月	八月
海口	二六四	一四四
廣東	二六九	五八
	三六五	二二〇
	二二〇	二二〇

平均濕度(%)

地名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
海口	八六〇	八六〇	八七〇	八五〇	八六〇	八二〇	八五〇	八六〇	八五〇	八五〇	八六〇	八六〇
廣東	七一九	七七四	七九六	八二六	八〇四	八二六	八〇一	七八三	七六八	六六九	六七八	七〇八

雨量

地名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
海口	一四三	一六三	一五三	一八三	一六三	一四三	一八三	一八三	一七四	一四八	八三	一八六
廣東	三三	四六	七九	一一九	二二四	二二七	二二六	一七九	一四八	四〇	二五	五三

右表ノ如ク廣東ニ於テハ五月ニ入ルヤ内地ノ盛夏ニ等シキ氣溫トナリ
相當暑熱ヲ感シ得ル氣溫濕度共ニ増加ス